

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

p-Phenylenediamine のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

第 1 3 0 5 4 号

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類急性毒性試験」(1992 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：p-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式：半止水式(24 時間毎全量換水)
- 3) 試験生物：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間：96 時間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区及び 0.10, 0.13, 0.18, 0.24, 0.32, 0.42, 0.56, 0.75 及び 1.0 mg/l
- 6) 試験生物数：10 尾/試験区
- 7) 収容密度：10 尾/4 l
- 8) 試験水温：24±1 °C
- 9) 照 明：16 時間明期
- 10) 給 餌：無給餌
- 11) 希 釈 水：水道水(東京都多摩市)を脱塩素したもの
- 12) 試験水の pH：pH の調整は行わない。
- 13) 分 析 法：高速液体クロマトグラフ法

結 果

1) 試験水中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20 %を超えたため、各影響濃度の算出には実測濃度を採用した。

2) 96 時間の 50 %致死濃度(LC₅₀) : 0.066 mg/l (Binominal 法)